

高等部 2年 植竹 さとりさん
 紅色パンダ



下地の色は明るい色をメインに塗りました。パンダは自分の好きな動物なのでそれをテーマに掘りました。

高等部 1年 濱淵 心汰さん
 富士山



墨と筆を使って、富士山を描きました。顔彩を使用し、富士山の色や風景を塗りました。色を濃くしたり、薄くしたり工夫しました。

中学部 1年 越智 楓翔さん
 季節の果物



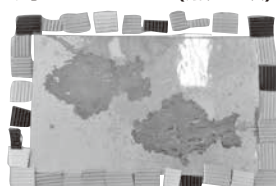
ステンボードにブドウや柿の入った果物かごを鉛筆で描き版画にしました。溝ができるよう強く描いたり、インクをつけてパレンで刷ったりする工程を真剣に行いました。

小学部 5年 山本 結希さん
 おにのトリオ



節分をテーマにクラスのお友達と協力して鬼を作りました。3体の鬼の顔を描く担当として、笑い鬼、泣き鬼、怒り鬼の顔を描きました。

小学部 1年 長田 龍さん
 海であそぼう(魚の額)



霧吹きで描いた海に、大好きなピンク色でビー玉を使って魚を描き、自分で切った画用紙で模様を付けた額に飾りました。

県立三郷特別支援学校には小学部・中学部・高等部があり、三郷市・八潮市・吉川市の3市の児童生徒が通学しています。ここに掲載する作品以外にも、学校ブログで児童生徒の作品をご紹介します。



市長コラム
 「価値ある未来を、共に」



問合せ

政策室

☎982-5112 ☎981-5392

令和3年度施政方針演説
 その①



3月議会で、令和3年度の市政の方向性を示す「施政方針演説」の一部(まとめ)をご紹介します。▼吉川市が目指しているのは、「市民一人ひとりが幸福実感を得られる未来」「持続可能な未来」という「価値ある未来」ですが、それは「生命の安全」「生活の安心」「地域の産業発展」があつてこそです。昨年はその3つを柱としたコロナ対策として、PCR検査センターの設置や子供・高齢者インフルエンザ予防接種の助成、ひとり親への家計支援、水道料金免除、また、プレミアム付商品券の発行、市内事業者への独自の支援金交付など、あらゆる分野において柔軟かつ迅速に事業を展開してきました。今年度もそうしたさまざまな対策を進める中「全市民の生命を守る」ために、まずワクチン接種事業をしっかりとした体制で進めてゆきます▼また同時に、

未来を創り出す為の歩みもしっかりと進めてゆかなければなりません。特に「吉川市スポーツ推進ビジョン」を定め、新たな方向性を打ち出した「スポーツ分野」においては、東京2020パラリンピックに出場を予定するマカオのホストタウンとなったことを契機に、障害者スポーツや多様性への理解をより一層深め、「スポーツによる共生社会の実現」を目指します。また、スポーツ施設整備においては、市民の皆さんが早期に使用できるように「市有地などを活用し、市内に分散してスポーツ施設を整備する」という方向性で進めてゆきます▼「環境保全指針」と「エネルギービジョン」を策定した「環境分野」においても、「四季が彩る持続可能なまちよしかわ」の実現に向け、市民・事業者との共動により、創エネルギーと省エネルギーに取り組み「2050年における脱炭素社会」を目指してゆきます。また、三輪野江地区にある大沢雄一元崎玉県知事の居宅跡地の公園整備では、「環境」もテーマの一つとして整備を進めてゆきます。